

経済学部・経済学研究科 海外留学プログラム

1.協定校への交換留学プログラム

2.短期語学研修プログラム

3.部局間協定校の特色

1. 協定校への交換留学プログラム

神戸大学では、世界約29の国や地域にある約111校の海外の大学と授業料不徴収による学生交換を行っています。

交換留学で留学すると・・・

- ① 「交換留学」なので、協定校の授業料は必要ありません。(留学期間中の授業料を神戸大学に納める必要があります)
- ② 留学先で習得した単位は所定の手続きを経て、神戸大学の単位として認められることが可能なため、卒業要件単位が満たされれば、1年間留学した場合でも4年間で卒業することが可能です(学部生の場合)。
- ③ 大学から推薦を受けた学生のみが交換留学生として協定校へ派遣されるので、履歴書などにも自信を持って記載できます。
- ④ 神戸大学の協定校は世界的に確立された評価を持つ大学ですので、個人の留学では入学が困難な大学へも留学できます。
- ⑤ 1学期間、1年間の短期留学でも、神戸大学基金や日本学生支援機構などの奨学金に応募できます。
- ⑥ 協定校では現地の学生とともに正規の授業を受けることができます。(一定の語学要件を満たしている場合)

I. 全学協定校 (窓口: 留学生課)

大学全体で学生交流の実施細則を締結している協定校への交換留学。世界大学18校と全学で学生交換を行なっています。

▶詳しくは神戸大学の下記URLを参照。 <http://www.kobe-u.ac.jp/international/study-abroad-programs/exchange/index.html#whatis>

*1 定員に満たない場合、2次募集をかけることがあります。

*2 定員は、受入人数と派遣人数で調整をとるため、規定の定員から変動することがあります。

国/地域	大学名	募集時期 *1	定員/年*2
米国	ピッツバーグ大学 The University of Pittsburgh	11月～1月初旬	学部2名、院2名
	ワシントン大学 The University of Washington	11月～1月初旬	数名
豪	クイーンズランド大学 (UQ) The University of Queensland	4月～5月初旬	数名
	西オーストラリア大学 (UWA) The University of Western Australia	4月～5月初旬	2名
英国	ロンドン大学東洋アフリカ研究学院 (SOAS) SOAS, University of London	11月～1月初旬	3名
仏	パンテオン・アサス(パリ第2)大学 l'Université Panthéon-Assas (Paris II)	11月～1月初旬	5名
	パリ西ナンテール・ラデファンス(パリ第10)大学 Université de Paris Ouest Nanterre La Défense	11月～1月初旬	3名
	パリ・ディドロ(第7)大学 l'Université Paris Diderot-Paris 7	11月～1月初旬	3名
オーストリア	グラーツ大学 University of Graz	11月～1月初旬	3名
チェコ共和国	カレル大学 Charles University	11月～1月初旬	3名
オランダ	ライデン大学 Leiden University	11月～1月初旬	2名
イタリア	ヴェネツィア大学 Ca' Foscari University of Venice	11月～1月初旬	3名
ポーランド	ヤゲウォ大学 Jagiellonian University	11月～1月初旬	3名
韓国	ソウル国立大学校 Seoul National University	4月～5月初旬	2名
中国	武漢大学 Wuhan University	11月～1月初旬	2名
	清華大学 Tsinghua University	11月～1月初旬	2名
	上海交通大学 Shanghai Jiao Tong University	11月～1月初旬	2名
台湾	国立台湾大学 National Taiwan University	11月～1月初旬	2名

Ⅱ.部局間協定校（窓口：経済学部・経済学研究科）

各部局・研究科単位で締結されている学生交流実施細則に基づく交換留学。学部生・院生ともに対象です。
IFEKプログラム、EUエキスパート参加学生から優先的に派遣します。

※募集大学・募集期間・申請締切は変更することがあります。掲示板または教務係までお問い合わせください。（2013年11月現在）

国名	大学名	申請資格	申請時期	定員
アイルランド	ダブリンシティ大学 Dublin City Universtiy	なし ※半年以内に受験したTOEFL-ibtスコアを提出する事	1月下旬頃 *	3名
デンマーク	オーフス大学 Aarhus University		1月下旬頃 *	2名
ドイツ	ベルリン経済法科大学 Berlin School of Economics and Law		4月派遣：9月中旬 10月派遣：1月下旬	5名
ベルギー	ルーヴァン・カトリック大学 KATHOLIEKE UNIVERSITEIT LEUVEN		1月中旬頃	1～2名 ※国際文化学部との合計
	ヘント大学 UNIVERSITEIT GENT	TOEFL-ibt79-80以上 又はIELTS6.0以上	1月下旬頃 *	2名
フランス	リール第三大学 Université Lille 3 ※新規	フランス語レベル B2以上が望ましい	1月中旬頃	5名 ※国文、 法学部との合計
韓国	漢陽大学校 Hanyang University	なし ※半年以内に受験したTOEFL-ibtスコアを提出する事	7月中旬頃	2名
	西江大学校 Sogang University			2名
	延世大学校 Yonsei University			5名
中国	北京外国語大学	学部生（派遣時2年次以上）及び大学院生 ・日常会話レベル	11月/4月頃	3名 ※問合せ先 人文学研究科 教務学生係

* 定員に満たない場合は、2次募集をかけることがあります。
 2次募集の場合は2月派遣で原則1学期間のみ、申請時期は7月中旬です。

■交換留学の奨学金(給付型)

交換留学生として神戸大学の海外協定校へ留学する場合、以下のような奨学金に応募することができます。いずれも競争率は高いので、奨学金を目指す学生は早い段階から日頃の勉学や語学力向上に努めましょう。

【重要】日本学生支援機構(JASSO)留学生交流支援制度(短期派遣)について

平成25年度から本支援制度の抜本的な見直しを実施され、従来のように各大学に対して一定数の推薦枠があった大学推薦枠が廃止され、各大学等がプログラム申請し採択された特色ある短期留学生派遣プログラムの支援を行う「プログラム枠」のみの募集となりました。そのため、従来のように毎年奨学金を申請できるとは限りませんのでご注意ください。申請資格及び要件(成績評価基準など)については、これまでと同様の資格及び要件が適応されますが、それに加え語学要件・経済面の家計基準が設けられています。

※平成25年度(2013年度)現在の情報です。

奨学金名	対象	支給額	募集時期・支給枠	留意事項
日本学生支援機構(JASSO)留学生交流支援制度(短期派遣)	<ul style="list-style-type: none"> 正規課程に在学している学部生、大学院生で、3か月以上1年以内留学する学生 成績の基準有 	地域により月額6~10万円(最長12ヶ月) 欧州: 月額8万円 韓国: 月額7万円 中国: 月額6万円	【募集時期】 派遣決定後、出発の2ヶ月前 ※対象者に連絡します。 【支給枠】 未定 ※年度により異なる。枠がない場合もあり。	※推薦時の前年度の成績評価係数が2.30以上であること。(満点3.0) 前年度の成績がない場合は、前学期の成績で成績評価係数を算出する。 http://www.jasso.go.jp/scholarship/documents/h26tanki_haken_youkou.pdf ※平成25年度については、経済学部のプログラムに対し、計20名分が割り当てられています。 ※帰国後に留学先での学習内容等について、所属学部・研究科に報告書を提出する。
HUMAP留学生交流推進制度(派遣)	正規課程に在学している学部生、大学院生で、アジア・太平洋地域のHUMAP加盟大学へ6か月以上1年以内留学する学生	月額8万円(最長12ヶ月)	【募集時期】 3月中旬頃 ※対象者に連絡します。 【支給枠】 年間1名	※派遣時期ごとに本学から推薦可能な割当人数がある。時期によっては割当がない場合もある。 ※帰国後に留学先での学習内容等について、所属学部・研究科に報告書を提出する。
神戸大学基金による学生の海外派遣助成	海外協定校への派遣が本学で決定している者(交換留学プログラム、ダブルディグリープログラムによる派遣決定者)	月額4万円(最長10ヶ月)	【募集時期】 年2回(11月、5月) ※対象者に連絡します。 【支給枠】 年間25~50名	※外国語能力について、派遣先大学の語学要件を満たしていること。 ※JASSOと併願可

【その他】日本学生支援機構(JASSO)奨学金 第二種奨学金(短期留学)(貸与型)

■語学力について

交換留学生として留学する場合、各派遣先大学が定めている一定の語学力を有している必要があります。語学力向上は短期間での達成は困難です。留学を希望する方は早めに勉強を開始しましょう。

英語圏への留学の場合:

・TOEFL(トーフル)-ibt

大学のキャンパスや教室といった実生活でのコミュニケーションに必要な、「読む」「聞く」「話す」「書く」の4つの技能を総合的に測定します。試験は全セクションコンピュータ上で受験します。試験は、毎月3~5回実施されています。

・IELTS(アイエルツ)/International English Language Testing System

英国、オーストラリア、カナダなどへ留学する際に最適な試験です。内容はTOEFLとほぼ同じで、試験は毎月1回(会場により2回)実施されています。

2. 短期語学研修プログラム

I. 夏期(冬期)短期語学研修プログラム (窓口: 留学生課)

神戸大学留学生センターが実施する「夏期日本語・日本文化研修プログラム」の交換プログラムとして実施し、授業料・宿泊費免除で留学生の受け入れと日本人学生の派遣を相互に行なっています。韓国語・中国語ともにビギナー向け初級から上級まで、幅広い語学レベルに対応したプログラムです。

<http://www.kobe-u.ac.jp/international/study-abroad-programs/summer-lp/index.html#english>

■授業料・宿泊費免除プログラム

海外協定校で語学研修&異文化体験ができます。

【韓国】 ※募集時期は2013年度のもの

大学名	都市	派遣時期	期間	募集時期
成均館大学校	ソウル市	8月上旬	3週間	5月
漢陽大学校	ソウル市	8月上旬	3週間	5月
釜山大学校	釜山市	8月上旬	3週間	6月
大邱大学校	慶山市	不定期 (春・秋)	1週間～ 10日間	不定期
木浦大学校	木浦市	8月上旬	2週間	6月
済州大学校	済州市	8月上旬	2週間	5月
全南大学校	広域市	8月上旬	3週間	6月
		2月上旬	3週間	11月
建国大学校	ソウル市	2月中旬	2週間	1月

【中国】 ※募集時期は2013年度のもの

大学名	都市	派遣時期	期間	募集時期
北京外国語大学	北京市	7月下旬	4週間	5月
山東大学	濰南市	8月上旬	3週間	5月
華東師範大学	上海市	7月上旬	3週間	5月
中山大学	広州市	7月上旬	3週間	2月

【台湾】 ※募集時期は2013年度のもの

大学名	都市	派遣時期	期間	募集時期
国立台北大学	台北市	8月中旬	2週間	5月

■「英語」で専攻分野を学ぶプログラム(韓国のみ)

韓国で世界中から集まる学生と意見交換し、交流を深めるチャンスです。

韓国の以下協定校では、すべての授業が「英語」で行われる3～4週間のサマープログラムを実施しています。

アジア・世界経済、経営、国際文化理解などから、希望コースを選択して受講する英語中級～上級者向けのプログラムです。

大学名	都市	時期	期間	募集時期
SKKU International Summer School (成均館大学校)	ソウル市	7月中旬	4週間	5月
SNU International Summer Institute (ソウル国立大学校)	ソウル市	7月中旬	4週間	5月

II.SOLAC海外外国語研修（窓口：国際コミュニケーションセンター）

神戸大学国際コミュニケーションセンター(SOLAC)が実施する海外外国語研修は、英語・中国語・独語・仏語の初級から中級レベルに対応したプログラムです。

実施要領の詳細は

SOLAC のHP[<http://www.solac.kobe-u.ac.jp/>]に随時掲載しています。

*ワシントン大学とグリフィス大学は、例年1年おきに交互に実施されます。

国/地域	大学名	研修期間	募集時期
アメリカ合衆国*	ワシントン大学	8月下旬～9月中旬	4月～5月
オーストラリア*	グリフィス大学	8月下旬～9月中旬	4月～5月
中華人民共和国	北京外国語大学	8月上旬～9月上旬	4月～5月
フランス	リヨン・カトリック大学	9月上旬～9月下旬	5月
オーストリア	グラーツ大学	8月下旬～9月下旬	4月～5月

III. オーストラリア クイーンズランド大学英語研修プログラム（夏季・春季）

（窓口：経済学部・経済学研究科）

約5週間の短期留学中に英語教育と、英語による経済学の教育を集中的におこない、参加学生の「読む、書く、聞く、話す」の英語力を向上させるためのプログラム。

【プログラムの目的】

- ① 将来における長期の交換留学を促す。
- ② 海外大学院への学位取得を目的とした留学を促す。
- ③ 英語で経済学を研究することのできる国際的な経済学者を育成する。
- ④ 日本以外からの参加者と交流を深め、目的①～③の達成に必要な国際的な文化理解を深める。

*** 費用や奨学金、募集人数は年度により変更になる場合がありますので注意してください。**

大学名	クイーンズランド大学(オーストラリア・ブリスベン)
派遣時期	夏季：8月下旬(25日前後)～帰国9月下旬(29日前後) (5週間) 春季：2月中旬(15日前後)～帰国3月下旬(21日前後) (5週間)
募集時期	夏季：5月中旬～5月下旬 春季：10月中旬～10月下旬 ※掲示板、経済学部HPに掲載
費用	約50万円（為替レートにより毎年変動あり） 内訳：授業料、ホームステイ(平日の朝・夕食、休日の3食込)、ゴールドコースト空港・大学間送迎で約3200豪ドル。 航空運賃、燃油サーチャージ、空港税、海外旅行保険、査証(約15万円)。現時点(1豪ドル＝約100円) その他：パスポート取得費用、関西空港まで往復交通費、現地での平日の昼食費と通学費、及び アクティビティ(任意)等の費用が必要。
奨学金	奨学金：10～14万円 ※H24年度は神戸大学基金により10万円、H25年度はJASSOにより14万円支給
募集人数	30～40名(夏季・春季合計) ※2013年度夏季は12名、春季は22名
授業内容	General English (7段階の能力別クラス、各週25時間、計125時間)、English for Economics (神戸大学の学生のための特別クラス計7時間)

3. 部局間協定校の特色

■ダブリンシティ大学(アイルランド) <http://www4.dcu.ie/>

DCUは比較的新しい大学で、科学・工学、コンピュータサイエンス、ビジネス、言語、人文・社会科学の学部があり、80以上の専攻分野を有する総合研究大学です。2011年現在、11,126名の学生が在籍しています。ダブリン市街地、ダブリン空港のどちらからも約15分程度の好立地にあり、先端の設備が備えられたキャンパスには、スポーツ施設や劇場、芸術センター、医療センターなどの施設のほかに、1,000人以上の学生が入れる寮もあります。



【留学経験者の帰国報告アンケートより(抜粋)】

①留学先大学の特長等

- ・アイルランドで唯一日本語学科を現在も持つ大学で、日本国内の各大学からも留学生が多い。また、学校併設で語学学校も持ち、語学留学生も広く受け入れ、非常に国際色豊かな大学となっている。
- ・ライティングや、コミュニケーションなどについて、留学生向けの、英語を学ぶための授業が各学期用意されている。学生同士でパートナーを組み、互いの語学等の学習をネイティブとサポートしあう制度を学校から斡旋。

②住居について

- ・学内・学外合わせて5つの寮を持ち、申し込んで入居。ただし、外部の部屋に関しては、関与せず。

③授業(カリキュラム等)のクラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

- ・総合大学なので、経済学関連以外にも様々な授業を履修することができる。
- ・クラスサイズは総じて、日本より小さめに作っており、一人一人が発言しやすかった。成績評価は、40点で合格、現地学生は60点取ればいい方と言っていた。また、一部科目では、試験の代わりに、留学生にはエッセイを課すものがあった。

④留学の感想

- ・アイルランドへ1年間交換留学へ行って、何よりもまず、かけがえのない経験ができたと思います。授業でも日本とは少し違った視点から勉強することができ、今までと違った考え方を身に着けることができました。
- ・語学力の向上はもちろんのことだが、様々な国の人がいるため、多くの文化と触れ合うことができ、想像した以上に見識が広がったように思う。

■オーフス大学(デンマーク) <http://www.au.dk/en/>

オーフス大学は1928年に設立され、研究と教育において長い伝統のある大学です。世界のTOP100大学の一つにも選ばれており、国際的にも高度な教育活動を行う大学として評価されています。大学はデンマーク第2の都市オーフスの市街地中心に位置しています。広大な敷地にはあらゆる設備や環境が整っています。35000人も学部生と大学院生が在籍しており、世界各地から多くの留学生を受け入れています。留学生は希望すればデンマーク語講座を受講することができます。



【留学経験者の帰国報告アンケートより(抜粋)】

①留学先大学の特長等

- ・総合大学として様々な学部が存在しており、必要な手続きをすれば好きな授業を履修することができます。私は経済学部の講義を取っていましたが、非常にレベルが高かったように思います。

②住居について

- ・International Centerが住居を割り当ててくれる。

③授業(カリキュラム等)のクラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

- ・交換留学生向けに英語で開講されている経済・経営学関連の授業を履修できる。
- ・クラスのサイズ、成績評価は授業によってまちまちです。テストも、筆記試験、口頭試験、アサインメントでの評価のみなどあり、日本とは異なります。レジュメで講義内容をしっかり確認することをお勧めします。
- ・tutorialなどではクラスのサイズも小さく、活発な議論がおこなわれることが多いです。

④留学の感想

- ・とにかく本当に楽しくて、違う視点・考え方を得られて、大切な友達ができ、本当に幸せで貴重な体験ができた1年でしたが、本当にこれを「よかった」で終わらせないように、まずは残りの学生生活を全力で楽しみます。
- ・現地ではいろいろなイベントやパーティーなどがあり、積極的に参加することで、友達はどんどん増えていきます。

■ベルリン経済法科大学(ドイツ) <http://www.hwr-berlin.de/>

ベルリン経済法科大学(BSEL)は、ベルリン市街地の中心部に位置する経営管理・経済学・法学を学べる応用科学大学の一つです。世界45か国以上の協定大学から、ヨーロッパ諸国を中心に数多くの留学生在籍しています。BSELは大学寮を持っていないため、ベルリン市内の学生宿舎に滞在しますが、公共交通機関が発達しているため、通学に困ることはありません。交換留学生は授業が始まる前にドイツ語の集中講座を2週間受講することができます。



【留学経験者の帰国報告アンケートより(抜粋)】

①留学先大学の特長等

- ・人数が少なくきめ細やかな指導。アクセスが良い。
- ・大学自体はとても小さいが、小さいが故に人と人との交流が深くまりやすい。

②住居について

- ・どの住居もしっかりした設備で、特に不自由はない。ベルリンは家賃も安く、気をつけなければいけないことはない。
- ・自然が豊かで多くの学生がこの寮に住んでいるのでとてもよい。
- ・BSELには大学寮がないので、通学に40分～1時間程度かかる宿舎に滞在する。大学の近くを希望する場合は自分で探す方がよい。

③授業(カリキュラム等)のクラスのサイズ, 成績評価, 現地学生の取り組み等

- ・授業がレベル1と2で区別されていて授業選択時に難易度が分かりやすくてよい。
- ・私が選択したクラスについては平均20人前後の小規模なものが多く、宿題などが頻繁に出されきめ細やかな指導を受けることができた。
- ・経済学や経営学の授業は幅広く開講されている。

④留学の感想

- ・ベルリンは外国人に対して寛大な都市で、自分の心を閉じずに努力すれば得られることは多いと思う。授業を選択する際に、もし現地の人との交流を重視する場合、グループワークで進められる授業を選択すべきだと思う。
- ・日本と違ってグループワークやプレゼンの授業がとても多く、自分から積極的に参加しないといけないので大変だったが、学んで吸収する場としては最適な大学だと思います。

■ルーヴァン・カトリック大学(ベルギー) <http://www.kuleuven.be/english>

1425年に創立された歴史ある総合大学です。現在、ルーヴァン・カトリック大学の在籍学生数は40000人を超えており、そのうち約15%がその他のEU諸国・EU諸国以外からの留学生です。授業の多くはオランダ語で行われますが、交換留学生を対象としたPECSといわれるプログラムでは英語での授業を受けることが可能です。



■ヘント大学(ベルギー) <http://www.ugent.be/en>

1817年に設立されたフランダース地方ヘントにある公立大学で、ルーヴァン・カトリック大学と同様にベルギーで有名な大学の一つです。現在11学部、130以上のコースがあり、約36000人の学生が在籍しています。Faculty of Economics and Business AdministrationではEnglish programmeが開講されているので、経済学分野の授業を英語で受講することができます。また、University Language Centreではオランダ語講座も開講されています。



■漢陽大学校(韓国) <http://www.hanyang.ac.kr/english/>

ソウルキャンパスには人文・社会科学はじめ、自然科学、工学、医学、薬学、芸術、音楽、体育など15学部を有する国内最大規模の私立大学です。世界に300校もの協定校を持っており、留学生が多く在籍しています。約35%の授業が英語で開講されており、また留学生には韓国語語学堂が開講されているため韓国語を学ぶこともできます。またキャンパス内にも寮があるので通学に便利です。



■西江大学校(韓国) <http://www.sogang.ac.kr/english/index.html>

1957年に設立。ソウル西側の大学区と呼ばれる地区に位置し、広大な敷地のキャンパスを有しています。西江大学校は6つの学部、10の大学院からなるカトリック系の大学で、少数精鋭の質の高い教育で有名な私立大学です。学部生が約7000名、大学院生が約2500名在籍しています。英語で行われる授業も多く開講されており、1学期に19単位まで取得できます。また、Korean Language Education Centerでは無料で受講できる韓国語講座も開講されています。



■延世大学校(原州キャンパス・韓国) <http://eco.yonsei.ac.kr/eng/index.asp>

延世大学校は、国際的な総合大学として1885年に設立された韓国最古の私立大学です。韓国政府による大学評価では常にベスト5に入っている名門校です。英語で開講されている授業を履修する場合は高い語学レベルが必要なため、留学するためにはTOEFL-ibt80以上を取得しておく必要があります。希望すれば韓国語講座(単位有)を受講することができます。



■北京外国語大学(中国) <http://en.bfsu.edu.cn/index.html>

1941年に創立された、中国最高峰の外国語大学で、国家教育部直属の重点大学でもあります。大学には現在、8つの学部と7つの学院、3つの研究所が設置され、31カ国語の外国語教育を行っています。現在では毎年30以上の国から1000名余りの留学生を受け入れています。周辺に中央民族大学、理工大学、首都師範大学、人民大学、北京大学と、多くの大学が集中する文教地域に位置しています。留学には、英語の他に日常会話レベルの中国語が必要です。



★経済学部から大学間協定校、部局間協定校へ留学した学生の報告書を教務係で閲覧することができます。